

学校だより



平成27年度 第17号

下野市立南河内中学校
発行者 日下田 英彦
H27. 9. 15

9月の俳句 彼一語 我一語 秋 深みかも

高浜 虚子

先週は50年に一度という大雨に見舞われ、自然の脅威と日ごろからの備えの大切さを感じた週でした。幸い南河内中学校の学区では大きな被害を被ることは避けられましたが、報道で近隣の市町村の被害の様子を目にすると、被災された方々の一日も早い復旧を祈るとともに、改めて安全に生活できることのありがたさを実感します。

今週はさわやかな秋の訪れを感じ、学習にも運動にも本当によい季節となりました。週末から5連休となり、5連休後には、1、2年生は地区新人大会に、3年生は第3回のまとめテストとなります。大半の生徒は元気に生活していますが、一部体調を崩して学校を休む生徒も出ています。これから急に気温がさがることがありますので、体調管理には十分気をつけましょう。また、衣替えの準備も始めておくとうよいと思います。

17号では、前号でお知らせした全国学力学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査から見える本校の生徒の様子と、新部長による地区新人大会の抱負をお知らせします。

1 全国学力学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査から見える本校生徒の様子

教科の学習内容からの考察

- 2年国語 ほとんどの学習内容、評価の観点とも平均的な力である。
- 社会 学習内容では「中世の日本」、「古代までの日本」の分野で平均を大きく上回ったが、「世界の諸地域」の分野では正答率が低かった。歴史への興味が深い。
- 数学 学習内容のうち「資料の活用」では大きく平均を上回ったが、内容の「数と式」、観点の「数学的な技能」が平均を下回る。計算力の定着が課題である。
- 理科 ほとんどの学習内容、評価の観点ともに平均を上回る。「大地の成り立ちと変化」の内容は平均を大きく上回る。
- 英語 学習内容、評価の観点とも平均的か平均を上回る。
- 3年国語 A（基礎）についてはほぼ平均に近いが、B（応用）では平均を下回る。特に「話すこと聞くこと」の内容と観点が平均を下回る。
- 数学 学習内容、評価の観点とも、B（応用）に比べA（基礎）の力が下回る。「数学的スキル」、「数量や図形」の定着が課題である。
- 理科 学習内容、評価の観点とも全体に平均を下回るが、特に基礎的な「知識」の定着が低いので、「活用」することにも影響があると考えられる。

生徒による学習状況からの考察

- 2年 「自分の行動や発言に自信を持っている」「教科の学習を生活の中に活用しようとする」などが平均を大きく上回り、「教科の学習が将来役に立つ」等でもよい傾向が見られた。「自分にはよいところがある」「難しいことでも挑戦している」等は下回っており、自尊感情を高める働きかけが必要である。
- 3年 「人の気持ちがわかる人間」「人の役に立つ人間」「国語・数学・理科等への関心」「問題を最後まで解こうとする」でよい傾向が見られた。家庭学習について「3時間以上行っている」生徒の割合も平均を上回っているが、家庭で計画を立てて勉強しているかを問う質問では、「している」と「あまりしていない」の両方で平均を上回り、両極端な実態がうかがえる。
- 全体として、「クラスは発言しやすい」「先生は学習のことについてほめてくれる」など安心して学べる雰囲気はあるが、「授業を集中して受けている」や「友達の話や意見を最後まで聞くことができる」などの個々の学びに対する積極性が平均を下回っている。
- また、平均と比べて、スマートフォンやテレビゲームの利用時間が長いこと、それによって睡眠時間が短い生徒が多いことも特徴にあげられる。

あくまでも本校の傾向ですが、学校でも教員間で話し合いを持ち改善策を検討しております。家庭での過ごし方については、保護者の皆様の協力が必要になりますが、この結果をもとにぜひお子さんと話す機会を持ち、お子さんの成長に役立てていただければと思います。よろしくお願いいたします。

2 下都賀地区新人大会の抱負（文化部は今後の活動の抱負）

野球部

秋山 楽空

僕の目標は優勝しかないと思います。僕がキャプテンとなって最初の大会は、4点差をはねかえされた逆転負けという非常にくやしい結果となってしまいました。なので、僕は地区新人大会では次こそはという思いで試合にのぞみ全員野球で優勝します。

野球部みんなの心を一つにし試合にのぞめば、どんな相手にも負けないチームと、僕は信じているので、その想いを胸に戦っていったらいいなと思っています。

ソフトテニス部男子

野澤 峻馬

男子ソフトテニス部は2年生が1人しかいないので、自分が責任を持ち1年生を引っ張って、地区新人大会に向けて良い結果を出せるように練習を積んで、先輩達のようなすばらしい部にしていきたいと思っています。

バドミントン部男子

飯野 敦也

僕達男子バドミントン部の地区大会の目標は県大会出場です。そのために毎日の練習をみんな一丸になって大きな声を出し合いながら頑張っています。地区新人大会は、悔いの残らないよう精一杯頑張ります。

バドミントン部女子

蓬田 千尋

私達女子バドミントン部の目標は、団体で地区4位で県大会に出場することです。強化練習会では上位に入ることができたので、新人大会に向けて練習を積み重ね、いい結果が残せるように頑張りたいです。

剣道部

丸山 遙己

僕達剣道部の地区新人大会の抱負は、大会の団体や個人でベスト8に入ることです。毎日練習で教わっていることを発揮できるように頑張りたいです。また、相手が誰でも心で負けず、全力を出し切りすばらしい大会にしたいです。

吹奏楽部

田口 綾香

吹奏楽部は、今年のコンクールで銀賞を受賞しました。私は一人一人の努力と積み重ねた練習が銀賞へと導いてくれたのだと思います。しかしここで止まったままではいけません。これからは金賞という大きなものを目指し1歩でも近づけるよう、さらに細部まで磨いていこうと思いました。そして3年生の引退が迫ってきました。先輩方に不安が残らないようにしていくためにあいさつや返事、教わってきたことを身につけて、よりよい吹奏楽部を築いていこうと思います。

バスケットボール部

須藤 美咲

バスケ部は人数が少ないため、練習内容が限られていますが、みんなが、自分の課題に向けて日々練習に取り組んでいます。前月の新人支部大会では初めてハーフコートマンツーマンというディフェンスに挑戦しました。よい結果は出せなかったけれど精一杯の力で戦うことができましたし、1人1人に新たな課題ができました。今度の地区大会ではその課題を成功させるために、体力作りや、シュート練を頑張っていきたいと思っています。最後に部長としてみんなをまとめチームのためにも活躍できるよう、人一倍努力していきたいと思っています。

ソフトテニス部女子

白井 亜美

私たち女子ソフトテニス部は地区大会でベスト8に入り県大会に出場することを目指して練習に励んでいます。2年生は私1人1年生は11人います。団体メンバーに入れる1年生は7人だけです。団体メンバーに入れる人は“負けない”という気持ちよりも12人のために頑張るという気持ちを持ってほしいです。チーム一丸となり南河内中の代表として頑張ります。

卓球部

佐藤 葵

新部長として下都賀地区大会の目標は、団体戦で1勝することです。そのために、放課後の練習や土曜日の午前練習の時に、弱点を少しでも改善していけるように今まで以上に真剣に取り組もうと思っています。また、自分が試合に入っていない時は、前回の大会で応援ができていなかったのも、応援する人が一人でも、相手の応援に負けないように気合いを入れて頑張りたいです。

美術部

小林 幸

私たちは今、「グリムの森フェステバル」「夕顔祭」「下野教育美術展」の大きな3つの行事に向け頑張っています。グリムの森フェステバルでは、みんなと作った紙芝居を上演します。皆様に喜んでいただけるよう一生懸命に取り組んでいきたいです。他にも自治医大や南河内図書館に「色紙絵」を展示することになりました。地域の方にたくさん見ていただき、楽しんでいただけたらと思います。このように地域に役立つ活動をこれからも増やしていきたいです。

新人大会らしく、それぞれにフレッシュな抱負を発表してくれました。何事にもまず、具体的な目標を立てること、そして、次は目標に対して具体的にやるべきことを考えること、あとはそれを実行するかどうかです。部長さんの抱負に対して部員全員が応えられるよう努力していきましょう。

